



緑ヶ丘中だより

郡山市立緑ヶ丘中学校通信 No.28

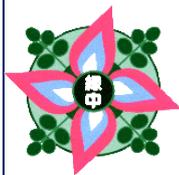
平成29年1月10日発行 文責 小熊 博治



第3学期始業式 ～3学期がスタート！～



本日、平成28年度第3学期の始業式・全校集会が行なわれ、3学期がスタートしました。始業式では、冬季休業中の生活を振り返るとともに、今日から気持ち新たに3学期をスタートさせよう、との話をしました。また、全校集会では、学年代表の3人が冬休みの反省と3学期の抱負を発表しました。学年代表の1年K. Eさん、2年N. Aさん、3年B. Nさん（写真右から）。



3学期始業式式辞 ～充実した一年にしよう～

郡山市立緑ヶ丘中学校長 小熊 博治

明けましておめでとうございます。

つつがなく新年を迎え、本日ここに、全校生が揃って3学期の始業式を開催できることを、大変うれしく思います。昨日で、18日間にわたった冬休みも終わりました。皆さんは、当初の計画通り充実した生活が送れたでしょうか。年の瀬から新年を迎えるこの時期は、何かと慌ただしく過ぎ去ってしまうものですが、家族や親せきの人たちなどと、共に過ごせる機会でもあったかと思えます。それぞれが、楽しく充実した冬休みを過ごしたことと推察いたします。

さて、今日から3学期が始まります。これからの3か月間は、一年の中で最も重要な時期といえます。言うまでもなく、3年生にとっては進路実現に向けた大詰めを迎える時期であり、義務教育最後の学期となります。各自が悔いを残すことの無いよう、過ごしてほしいと思います。

また、1・2年生にあっては、一年のまとめの時期として充実した学校生活を送り、来る進級時に向け、更に力を蓄えていかなければなりません。そのためには、今日からの一日一日が、とても重要になってきます。2学期の反省を踏まえ、各自が新たな目標を立てると共に、一層の自覚を持って学校生活を送ることを願っています。自分自身の生き方を振り返り、自らを高めていこうとすると、先人の言葉が思わぬ示唆を与えてくれることがあります。私が尊敬する松下幸之助という人は、バナソニックという企業を一代で築いた人物ですが、人の生き方についてこのように述べています。

「人と比較をして自分が劣っていると看做しても、決して恥じることではない。けれども、去年の自分と今年の自分とを比較して、もしも今年が劣っているとしたら、それこそ恥すべきことである」

また、人が努力することについては、

「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる」と諦めようとする心をいさめていきます。確かに、言われてみればその通りだ、と共感できる言葉です。この言葉が、皆さんのこれからの学校生活の糧になればと思います。

最後になりますが、私の今年の目標は、「平成29年を、最高の一年にする」ことです。新たな一年を、これまでより一番良い年にしたい、との思いと共に、緑ヶ丘中学校のすべての生徒にとっても、最高の年になることを願っての目標です。3学期はあっという間に過ぎてしまう程短い学期です。一日一日を大切に、これからの学校生活を有意義に過ごすことを願い、始業式の式辞とします。今年一年、皆で頑張っていきましょう。